



第4章

出エジプト記





ヘブル人は、山々を抜けて、紅海に行き当たるところまで道を進んだ。目の前に広がる、広大な海を、どのようにして渡れば良いのか話し合いながら、その場に宿営した。






戦闘用の馬車を用意せよ！ヘブル人の後を追うのだ！全員連れ戻すか、さもなければ皆殺しにしてしまえ！

陛下、仰せの通りに。

息子を失った悲しみから我に返った王は、怒りを覚えるようになり、なぜ自分は奴隷達を解放してしまったのか、と後悔した。

出エジプト記14:5-7



見る! エジプト  
の軍勢だ! 荒野で  
追いつめられる  
とは!

モーセは我々がここ  
で死ぬために連れ出した  
のか。神から見捨てられたよ  
うな、こんなところで死ぬく  
らいなら、奴隷として生き  
るほうがまだましだ!






もう神にも  
我々を救うこと  
は出来ない。



山々に囲まれ、  
目の前は海だ。  
我々は行く手を阻  
まれ、囲まれて  
しまった。

エジプトの軍勢は、無力のヘブル人たちを見つけると、モーセがエジプトに対して行った数々の災いを思い起こし、彼らを皆殺しにしようとした。



その場を動くな。  
神様は、必ず大いなる  
御業をもって私達を  
救ってくださる。

王の心は再び強情  
になった。しかし、  
今日を境に、あなたがた  
はもう二度と、エジプ  
トの軍勢を見ること  
はないだろう。

出エジプト記14:5-13





エジプトの軍勢が、今にもヘブル人たちに突進してきそうに見えたが、まさにその時、天から巨大な炎が降りてきて、軍勢の行く手を阻んだ。その夜、ヘブル人たちは光に守られ、エジプト人たちは深い暗闇におおわれた。


モーセは、海に向かって杖を差し伸ばした。すると、天から強い風がふき起こり、水が分かれて海底の陸地部分が現れた。



これは、まさしく壮大な奇跡であった。イスラエルの子孫たちは、乾いた海底を歩いて渡ることが出来たのだ。

長い年月が経った後にも、彼らは、海に道を造られた神のことを詩にあてて歌い続けた。多くの人々が、神が唯一の、主なるお方であると認識することができるように。





今までエジプトの地で見たものの中で、これに勝る驚きはないわ!

うわあ! やっぱ  
り僕たちの神様は一番  
すごいね! 海の真ん  
中にあるなんて信じ  
られないよ。



ヨシヤ!  
なんてことを!  
そこから離れなさい!  
あなたは泳げないでしょ?






きれいな魚に触  
りたいたけだよ。

ヘブル人達が、ほぼ海底を  
渡り終えようとした頃、神  
は、エジプト軍を食い止め  
ていた火の柱を取り去られ  
た。海が分かれるところを  
見ていなかったエジプトの  
軍勢は、そのままヘブル人  
達の後を追いかけた。

突撃前進！  
ヘブル人は皆殺  
しにせよ！


出エジプト記14:22-23





今日、あなたがたは全能の神の御力を見るのだ！


見ろ！海水が元に戻っていく。奴らは溺れ死ぬぞ。



エジプトの兵士達は、皆、海水にのまれて溺れてしまった。木や石でできた、彼らの信じる神々は、彼らを救うことができなかったのだ。

出エジプト記14:27-28





エジプト軍の  
死体だ。海は兵士  
の死体で一杯にな  
ってしまった。


確かに我らの神は  
全能なるお方だ。この  
ようなことができる神は  
他にいない。この日の  
ことを、我々は永久に  
覚えておこう。

海とエジプトの軍勢を後にし、ヘブル人達は雲の柱とモーセに従って、荒野を前進した。道中、エジプトから持参した飲み物と食料を口にして必要を満たした。



数日間の旅の後、雲の柱が導くままに彼らは水源に行き当たった。ヘブル人達はそこで野営したが、やがて食料が底をつきはじめた。周りには食料源となるものは何もなく、望みが尽きたように思えた。





エジプトにいたほうがまだ  
ましだったぞ。奴隷でも  
食べるものはあったか  
らな。でもここには何  
もないじゃないか。


そうだ、あんた  
は我々をこんな場  
所で飢え死にさ  
せる気か？



よく聞きなさい。  
あなたがたは、私に不平  
を述べているようだが、実  
際は、我らが従ってきた神  
に対して文句を言ってい  
るのだぞ。

全能なる神は、天からパンを  
降らせよう、と仰せられている。  
毎朝、あなたがたは、地の上を覆う  
パンを見つけるだろう。ただ行ってそれら  
を集め、食べれば良いのだ。





モーセは何と言っ  
ていたの？どのようにし  
て食料を見つけるって？  
子供達はとてもひもじい  
思いをしているわ。

彼は、全能なる神が、  
朝ごとに天からパンを降ら  
せると言っているんだ。


もうすぐ日が昇るわ。  
モーセの言う通り、地の上  
にパンが積もっていると思う？

そうでなければ  
飢え死にだ。

でもさ、  
パンが空から降っ  
てくるだなんて、  
あなた、聞いた  
ことある？


そりゃあもちろんないさ。  
でも、海が開けて道が  
できた、なんて話も聞いた  
ことがなかったからなあ。  
モーセの神は、天地創造  
の神に違いねえ。  
天からパンを降らせる  
こともきっとおできになよ。  
さあ、日の出の時間だ。  
外に行ってみよう。





モーセの言った通り、天からのパンだわ。

何だって我々はまた疑ったりしちゃったんだ？



見て!い  
たる所にパ  
ンがあるわ。

とてもおいし  
いわ!ハチミツ  
の味がする!

まことに神は  
全能なるお方であ  
り、モーセはその預言  
者だ。



荒野を進み行く間、神は天からのパン、すなわち「マナ」と呼ばれる食べ物を、彼らに与え続けた。「マナ」とは、ヘブル語で「これは何?」という意味を表す言葉である。



雲の柱が水源のそばで止まると、ヘブル人達はその地で野営し、天からのパンを食べて生活した。しかしひとたび雲の柱が動き出すと、彼らはすぐさまテントをたたみ、見知らぬ荒野へと続く道のりを従っていった。


しかしある時、水が不足してしまうという事態となった。

神様はパンを下さったが、もはや我々を脱水症状で死なせる気だ。

水がなければ、この子は喉の渇きで死んでしまうわ。







我々はエジプトに  
留まるべきだったんだ。  
動物達が死んで、やがて  
は子供達が息絶える。  
我々はあんたを石打ちに  
して殺すべきだ。

神様は我々  
と一緒にいてく  
ださるんじゃないな  
かったのか？

全能なる神  
と話してみる。

出エジプト記16:14-15、  
17:2-4、詩篇78:24-25

神はモーセに、  
どうすればよい  
のか示された。

ここへ来て、  
神のお力を見るが  
よい。あなたがたは  
不平不満を言うばかりで、  
神をちっとも  
信じていない。





神はあなたがた  
にパンを与えられた。  
今度はこの何の変哲も  
ない岩から、水をお  
与えになるのだ。



バシッ!

ひいひい~!

出エジプト記17:5-6



岩から流れ出た水  
は、まるで川の様  
うに地を潤した。






再び雲の柱が動き出したため、ヘブル人達は荷物をまとめると、シナイ山と呼ばれる山へ向かって荒野の旅を再開した。



モーセが神に祈ると、  
神はまたお語りになった。


わたしがエジプトに  
下した裁きや、わたしが民を  
エジプトからどのように救い  
出したのか、また、食料を与  
え、岩から水を流れさせた  
ことなどを、すべて民に  
思い出させよ。



もしあなたがたが、  
わたしの掟に従い、わた  
しの契約を守るなら、あなた  
がたはすべての国々の民の中  
にあって、わたしの宝となる。  
あなたがたはわたしにとっ  
て祭司の王国、聖なる  
国民となる。

モーセ、わたしは  
濃い雲の中であなたに臨  
む。わたしがあなたと語  
るのを民が聞き、いつ  
までもあなたを信じ  
るためである。






モーセは山を下りてきて神が話されたことを人々に伝えた。

我々は神に従う。  
神が言われること、  
全てに従おう。


行って、あなたがたの衣服と身体を清め、神への礼拝に備えよ。三日目に神はシナイ山に降りてこられる。

神が命じた通りに三日目、彼らは山の目前にて、  
神が語りかけられるのを待った。不思議な雲が  
山の上に降りてきて、そして…

A dramatic illustration of a mountain peak. In the foreground, a crowd of people wearing head coverings and robes is gathered, looking towards the mountain. In the middle ground, a figure stands on a rocky outcrop, holding a staff. The background features a large, dark mountain peak with a bright, glowing light source behind it, creating a silhouette effect. The sky is filled with swirling, dark clouds. The overall color palette is dominated by dark blues, purples, and oranges, creating a sense of mystery and divine presence.


モーセ、山の頂  
に来なさい。



A dramatic illustration of Moses on Mount Sinai. He is shown from the waist up, wearing a blue tunic and a yellow shawl, with his arms raised in prayer. The background is a fiery, golden landscape with jagged rock formations and a bright, glowing light source, possibly the sun or a divine presence. The overall tone is intense and awe-inspiring.

モーセ、わたしはあなたがたをエジプトの地よりあが  
ないだした、全知全能なる神  
である。山をおりて、山の周  
りに境を設けなさい。

この山に触れる者は、  
誰であれ死ぬことになる。  
わたしはあなたに十の戒  
めを与えよう。あなたは  
それを民に告げなけれ  
ばならない。



あなたには、わたしのほかに、ほかの神々があってはならない。

あなたは、自分のために、偶像を造ってはならない。

あなたは、あなたの神、主の御名を、みだりに唱えてはならない。

安息日を覚えて、これを聖なる日とせよ。七日目は、あなたの神、主の安息である

あなたの父と母を敬え。

殺してはならない。


姦淫してはならない。

盗んではならない。

あなたの隣人に対し、偽りの証言をしてはならない。

すべてあなたの隣人のものを、欲しがってはならない。





山をおりてきたモーセは、イスラエルの70人の長老たちを集め、神の十戒を伝えた。

私達は従います。


良い戒律だ。

70人の先導者達よ、私と共に山に戻るのだ。神はあなた方にも、お会いになられるだろう。あなた方自身の目で確かめるがよい。しかし、まず私は神の十の戒律を書き留めなくてはならない。

モーセは慎重に神が言われたことを書き留めた。神の御霊が、彼に間違い一つなく書くことを助けてくださったのだ。







モーセは戒律を書き留めると、人々を集めて神の言葉を読んで聞かせた。

神のおっしゃることは全て正しい。私達は従うぞ。

神は、イスラエルの民と契約を結び、彼らを祝福して命を与え、彼らを敵から救うことを約束された。そして民は、神の掟に従い、義なる歩みをすることを約束した。


神はモーセに、ほぶりの捧げものを求め、その犠牲の血を人々にふりかけるようお命じになった。







アロンやモーセを含めたすべての人間は罪人であり、死の報いを受けるべき存在であった。しかし神はあわれみに満ちたお方であり、死の報いを免れる救いの道をご用意された。



純真無垢な子羊をほふり、  
民にその血をふりかけることによって、  
神は民を生かしてくださった。  
死ぬべき多くの罪人達の身代わり  
として、罪のない子羊が命を落  
としたのである。

あなたがたの罪は  
覆われた。あなたがた  
70人は、私とともに山  
へ登り、神のご栄光を  
仰ぎ見るのだ。





70人の長老達は、  
モーセの後に従い、  
神がモーセに語られた  
山へと入っていった。

そこに突然、神の  
御座が現れた。



神の  
ご栄光だ！



70人の長老達は、  
山の頂で光り輝く神の  
ご栄光の中に消えてい  
くモーセを見つめた。

なんと  
いう美し  
さだ!

栄光に満ち  
ている!


神と向かい合っ  
て話せる者は、  
モーセ以外に誰  
もいないぞ!

モーセ、わたしに礼拝を捧げる場所となる幕屋を、民に作らせなさい。そこには、ほふりの捧げものを置く祭壇と、あなたがたの世代の続く間、わたしが年に一回大祭司と会う聖所を設けなさい。

幕屋の作り方は、わたしが詳しく教えよう。レビ族をわたしの祭司とし、アロンとその息子達、そしてその子孫達を大祭司として任命しなさい。彼らは民に、義の道を進むことを教え、民が罪を犯した時には、贖罪の捧げものを捧げる働きをするのだ。








モーセがあこの山  
の火の中に消えてか  
ら、もう数週間  
経っているぞ。彼は  
もう死んでしまっ  
たにちがいない。

ああ、こんな  
荒野にいつまでも、  
ぐずぐずしてはい  
られない。

我々には、  
モーセのように、  
導いてくれる神  
が必要だ。

金を溶かし  
て神となるも  
のを作りまし  
ょうよ。



モーセは死んだ。  
アロンが我々をエ  
ジプトに連れ戻し  
てくれる、金色に  
輝く神を作っ  
てくれるよ。

あなたの、  
その金もちよ  
うだい。




愚か者達は、自分の手によって子牛の  
鑄物を作り、それを神と呼んだ。罪を  
犯して墮落する前のサタンの姿は、牛  
のような存在として記されている。  
民はそのことに気づいていなかったが、  
サタンは民に自分を崇拜させるために、  
彼らを欺いてそう促していたのだ。



アロンは、民の望む  
通り、金の偶像を作  
る手助けをした。

出エジプト記20:4、25:8-9、28:1-3、32:1-4  
エゼキエル書1:10、10:11、28:14

アロンは愚かであった。  
この偶像は神の姿ではない  
と知っていたが、彼は民を  
恐れてしまったのだった。



これが、あなたがた  
をエジプトの地から救い  
出して下さった神の姿だ。  
明日、この神にほぶりの  
いけにえと礼拝を捧げ  
ようではないか。

いかなる偶像も神として  
崇めてはならないと、神  
が戒律として命じていた  
にも関わらず、彼らは自  
分達が作り上げた想像上  
の神を崇拜した。




民は酒に溺れ、裸体で踊り、  
姦淫の罪を犯した。神は、悪魔  
とその使い達を滅ぼすために用  
意した火の中へ、民を送り込も  
うとお考えになっていた。

神はモーセに言われた。「さあ、下りて行け。…  
あなたの民は墮落してしまった。彼らは自分たち  
のために鑄物の子牛を造り、それを伏し拝み  
わたしの怒りが彼らに向かっても上がり、わたし  
が彼らを立ち滅ぼす…。」



出エジプト記32:5-10



モーセは、神との契約を忘れて、  
偶像礼拝をする民に怒りを覚えた。

あなたがたは  
神との契約をや  
ぶってしまった  
のだ！





モーセは、神の十戒の書かれた石の板を砕き壊した。




神は、ご自身のほかに  
神々があってはならない、  
と仰せられたのではなかった  
のか?! あなたがたが自分の手  
で作った像が、天地創造の  
神などと言うのか?

モーセは像を打ち砕き  
粉々に破壊した。

出エジプト記20:3-4、32:15-20





全知全能なる神に  
従う者は私の側へ、エ  
ジプトの神々を信じた  
い者はその場に留ま  
りなさい。


我々はアブ  
ラハムとイサ  
クとヤコブの  
神に従う。

お姿は見えなく  
とも、紅海をまっぴた  
つに分けられた神に、  
我々は従う。



罪の報酬は死だ。  
全能の神は、彼らは死  
ななければならぬと仰せ  
られている。さあ、剣を取れ。  
そして、偶像礼拝の罪を犯し  
続けている者達を一人残  
らず殺すのだ。





3000人あまりの偶像  
崇拝者と姦淫をする者達が、  
その日、すべて殺された。

グサッ!

やめてく  
れ〜!

助けてく  
れ〜!

出エジプト記32:26-28




モーセは山に登り、神は再び二つの石の板に十戒を記された。モーセは民のもとに戻ると、神の戒めを提示した。民はその戒めに従うことに同意した。





神は、あなたがたの心が  
かたくなになり、反抗的であること  
をご覧になられた。あなたがたが罪を  
犯したとき、神はすべての民を滅ぼすと  
仰せられた。しかし私が神に祈り求めた  
時、神はあなたがたの罪を取り除かれる  
と約束して下さった。全能なる神は、  
まことにあわれみ深く、赦し  
に満ちておられる。




神は幕屋を建設するようにと、指示された。神の仰せられる通りに作り上げたなら、神はそこでお会いになってくださる。我々は罪人であるから、神に近づくための方法を自ら用意してくださったのだ。

レビ人達は、毎日ほぶりの血の捧げものを用意する。年に一度、その血は契約の箱の上に置かれる。神が、エジプトの時のようにその箱の上の血をご覧になられる時、神は我々の罪を取り除かれ、我々は死を免れる。これは、神の赦しの現れである。




やがて幕屋は完成し、祭司達は日々、ほふりの捧げものを供えた。神は、ほふられた動物達の血を捧げる、者の信仰をご覧になられ、罪を取り除かれた。



しかし、人々は荒野での生活に嫌気がさしていたので常に不平不満を口にした。

そして、とうとう神が彼らの不平不満と不信心に裁きを下される時が来た。

A dramatic illustration of a camp at night. In the foreground, a large green snake with a yellow underbelly is coiled on the ground. In the background, several tents are lit from within, and several people in traditional Middle Eastern attire are visible. Another large snake is seen on the right side of the frame, its head raised. The sky is dark with some light clouds. A speech bubble is positioned in the upper left quadrant.

きゃー！見て！  
へびよ！しかも  
たくさん！

神は多くの毒へびを彼らの宿営地に送られた。へびは、生きた暖かい肉体を求めて這いまわった。神はあわれみに満ちたお方である。しかし、罪が繰り返されることをお許しにならないのだ。

出エジプト記34:28-32、  
39:32、民数記21:5-6





やがて宿営地は毒へび  
でいっぱいになった。




神よ、  
お助けを！



夜になると、へびは民の天幕の中にまで侵入してきた。

シュ〜





助けてくれ!  
噛まれてしまっ  
た!



いやあああ～！



危ない、ヨアブ!

お母さん!



子供でさえも、  
その両親の罪の  
ゆえに裁きを受けた。

民数記21:6




野營地のあちこちから苦痛と悲観にくれた叫びが聞かれた。罪に対しての報いは恐ろしいものだ。

ますますひどくなっていく。すでに多くの者は毒により死んでしまった。

グシヤ!


モーセを呼んでこよう。これはまさに神のなされる業だ。神が、民の罪に対してお怒りになられているのだ。



神と話をしてくれないか。我々はこの報いを受けるだけの罪を犯した。だが、神にあわれみを示してくださいよう、求めてもらいたいのだ。

神は罪に対して真面目に対処なさる、ということを、民はいつになったら理解するのだろうか？掟に従い、聖別された国民にならねばいけない。






神様、どうか、  
あなたの民にあわれ  
みをお示し下さい。  
彼らの罪をお赦し  
ください。

行って、民に噛みつ  
いているへびと同じよう  
な姿のへびを青銅で作  
り、それを旗ざおの上  
につけよ。民がそれ  
を仰ぎ見れば、噛ま  
れた者も癒され、生  
きる。

神様は解決の道を示  
してくださったぞ!あの青銅  
のへびを見上げれば、噛まれ  
た傷もいやされるそうだ。








死にそう  
なんです。

いや!大丈夫だ。  
神様は解決の道を示し  
てくださったんだ。目を開  
けて見上げなさい。見て、  
そして生きるんだ!



奇跡だわ!

他の者にも話さなくては!


私にも効いたぞ!  
みんなに伝えよう!





見上げろ、  
そして生き  
るんだ!

民数記21:9



なぜ、そんな偽りの希望をもたせるようなことを言って、からかうの？

みんな見上げて治ったんだよ！

分からないのか、もう私はダメだ。そんな戯言を言うために来たのか？





死んでしまったわ。

残念です。  
彼は信じなかったんだ。


プライドがあったので  
しょう。

民は、またしても神の力を目の  
の当たりにした。へびのいる  
ところから宿営地を移し、普段  
通りの生活が戻ってきた。



しかし、民は引き続き自分たちの  
思うように行動し、しょっ  
ちゅう神の掟に逆らった。





イスラエルの子孫達は、雲の柱に従った。神は、彼らに天からの恵みであるマナを送り、飲み水も与えた。

神は、民を約束の地へ招き入れることもおできになられたが、彼らが不従順で神の掟に従おうとしないため、あえて40年もの間、彼らに荒野をさまよわせた。

モーセ、お前は自分だけが神に近いと思っているんだろう。我々も同じくらい聖なる存在で、事実、ここにいる群衆も皆同じだ。我々の中に、もはや罪人はいない。神のご臨在があるからな。だから、もうこれ以上お前とアロンに指図されたくないし、裁きを言い渡されるのもごめんだ。我々にもお前と同じように、判断力が備わっているんだ。




そうだ、俺は、ささいなことでも我々を殺すと言う神と一緒に、こんな砂漠をさまよいつづけることに疲れ果てたよ。

そうだ、モーセの責任だ。だいたい、我々に期待しすぎて、厳しすぎるんだよ！



モーセは幕屋へ行くと、神に、  
どうするべきかお伺いを立てた。






神は仰せられた。「レビの子達よ。あなたがたは多くの責任と力を自分たちの上にもたせようとしている。わたしがあなたを指名したわけでもないのに、祭司の職まで要求するというのか。」

明日、神は我々の間に裁きを下される。その時、神の祭司となるべき者は誰なのかが明らかになり、聖なる者とそうでない者とが示される。明日の朝、おのおの自分の火皿を取り、幕屋に集まりなさい。



翌日



自らを聖なる者  
と呼び、祭司となっ  
て民を裁く者になる、  
と語る者達よ、近く  
へ来なさい。

今日、神はこの場で、  
我々にお会いになられ、  
選んでくださる。我々は神  
の力とご栄光を見る。





あなたがたはこの  
会衆から離れよ。わたしは  
この者どもをたちどころに  
絶滅してしまうから。




彼らの天幕から離れ、  
そこに近づいてはなら  
ない。あなたがたが滅  
ぼし尽くされること  
がないように。






これは試みでもある。  
もしこの者たちが、自然に死ぬの  
なら、私を遣わされたの  
は主なる神ではなく、神は  
私の口を通して語られ  
ることはない。



しかし、もし主がこ  
れまでにないことを行わ  
れて、地がその口を開き、  
彼らと彼らに属する者たちとを、  
ことごとくのみこみ、彼らが生  
きながらよみに下るなら、あな  
たがたは、これらの者たちが罪  
を犯し、主を侮ったことを知  
るでしょう。そして私が神の  
預言者である、ということも。



助けて  
くれ〜!

わ——!


やめてくれ  
—!



# 民数記16:28-33



祭司になるべきだと自負していた者たちは、生きたまま地にのまれ、悪魔とその使いのために用意されていた、よみの火の中へと落ちていった。




彼らの火皿  
をとり、祭壇  
のための被い  
とせよ。

その被金を見るたびに、  
神の戒めを破って自らを祭  
司としようとした者がいた、  
という今日の事を、あなたは  
思い出すのだ。

この日はイスラエルにとって忘れら  
れない日となった。神は、モーセこ  
そが預言者であり、神の命じた者の  
みが祭司になりうることを、明確に  
お示しになられたのである。





神様のご栄光は常に我らと共にあり、天からの恵みのパンを備えてくださる。

神の栄光は常に天幕に立ち、40年もの間人々はモーセに従い荒野を行ったりりたりしていた。

神は彼らに、引き続き、天からの恵みのパンと岩からの水を備えられた。夜は火の柱が、日中は雲の柱が彼らを導き、民は、荒野にあって、神の教えを守ることを学んでいった。



祭司達は、幕屋に  
集い、モーセが命  
じた通りに日々、  
ほぶりの捧げもの  
を神に捧げた。





荒野において40年の歳月が流れた後、民が約束の地へ入る時が来た。神はモーセを山の頂きに招かれた。地においての最後の言葉を神と交わしたモーセは、横になると静かに息を引き取った。



直ちに彼の霊は神の御前に先導されていった。世の終わりが来て、神がアブラハムに約束された、真の約束の地において、再び彼の同胞と出会うその日まで、彼は神の御元に留まるのだ。

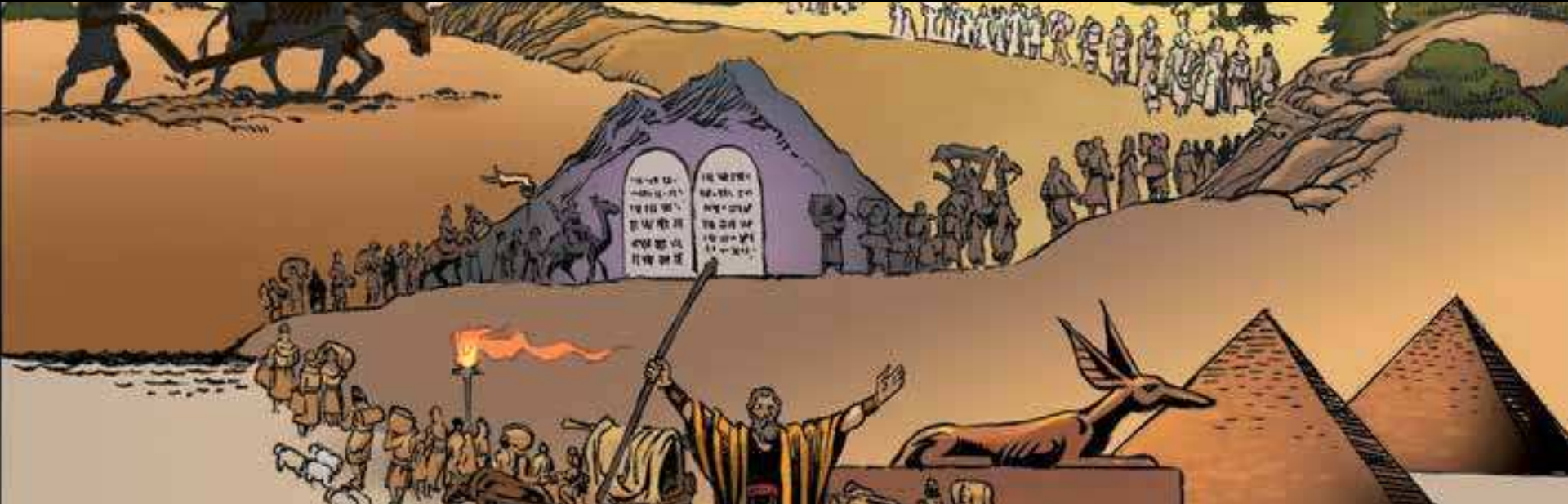
紀元前 約1451年 申命記34:4-5



全能なる神が、アブラハムに対し、祖国を離れ、神の示される土地へと旅立ちなさい、と仰せられてから、実に500年あまりもの月日経っていた。

神が、アブラハムとサラに、息子のイサクを通して大いなる国民が生まれる、と仰せられた約束は、成就した。後にイスラエルと名前を変えたヤコブの、12人の息子達は、やがて12部族へと成長し、人口は増え広がっていった。





彼らは奴隷から解放され、モーセに従って荒野をさまよい、神のおきてを授けられ、そしてついに、神の約束された地に入ることとなった。荒野を旅している間、常にモーセの傍らに付き添っていたヨシュアという少年は、モーセの言動を見て学ぶことにより、イスラエルの民を導くために必要な知識を備えた。







少年ヨシュアは、成長し、強き勇者となっていた。

モーセが神の御元に旅立った後、彼に代わって民を約束の地へ導く指導者として、今度はヨシュアが神に選ばれた。



見知らぬ土地で寄留者となり、400年もの間、苦役を強いられた後、やがて彼らは父祖の土地へ帰ってくる、という預言の言葉を、民は覚えていた。神は約束を成就してくださったのだ。



民がヨルダンを越えると、天からの恵みである、マナと呼ばれる食物は途絶えた。そしてその代わりに、民はその土地の産物である新鮮な食べ物を口にするようになった。

あなた、神様は私たちに素晴らしい土地を与えてくださったわね。

申命記34:9、  
ヨシュア記5:12

ああ、ここは、子供達を育て、この子達に聖さと平安の中に生きることの大切さを教えるのに最適な場所だ。





<https://goodandevilbook.com/>